

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：公衆衛生費 目：生活衛生指導費

事業名【新】動物愛護センター備品整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 生活衛生課 動物愛護係 電話番号：058-272-1111(内3413)

E-mail : c11222@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,033 千円 (前年度予算額： 0 千円)

＜財源内訳＞

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,033	0	0	0	0	0	0	0	2,033
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・岐阜県動物愛護センター(平成26年4月開所)において、犬及び猫の譲渡を推進し、動物愛護、犬及び猫の適正飼養の普及啓発を進め、災害時には犬猫救援活動の拠点とするための事業を実施する経費
- ・動物愛護センターの運営に必要な備品の計画的な購入費用

(2) 事業内容

動物愛護センターには、犬猫の飼養管理や不妊去勢手術の実施等のため、動物用医療機器や検査機器を多数備えている。これらの機器について不具合が生じた場合は、業者によるメンテナンスや修理によって対応しているが、開設後10年以上経過し、開所時に揃えた備品等も耐用年数を超えるなどし、不具合が生じる頻度も高くなっている。今後、修理不能や交換部品の確保が困難になることも想定されるため、計画的に備品の更新を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	2,033	検査備品の更新
合計	2,033	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

保健所に収容された犬猫のうち譲渡に適すると判断された個体の健康診断、マイクロチップの挿入、不妊去勢手術及び地域猫の不妊去勢手術を動物愛護センターで実施するため、修理不能や交換部品の確保が困難な状況にある老朽動物用医療機器等の更新を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①犬及び猫の譲渡事業	-	99頭	120頭	140頭	140頭	55. 0%
②地域猫活動支援事業	-	149頭	160頭	170頭	170頭	74. 5%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年 度	保健所に収容された犬猫のうち譲渡に適すると判断された個体の健康診断、マイクロチップの挿入、不妊去勢手術を実施し譲渡を行うことで殺処分数の削減及び適正飼養者の育成を行う。 また、地域猫の不妊去勢手術を行うことで、飼い主のいない猫により生じる地域でのトラブルを解消並びに引取り頭数等の成果が見込まれる。 指標① 目標：180頭 実績：85頭 達成率：47. 2% 指標② 目標：200頭 実績：121頭 達成率：60. 5%
	指標① 目標：180頭 実績：86頭 達成率：47. 7% 指標② 目標：200頭 実績：78頭 達成率：39. 0%
令和 5 年 度	保健所に収容された犬猫のうち譲渡に適すると判断された個体の健康診断、マイクロチップの挿入、不妊去勢手術を実施し譲渡を行うことで殺処分数の削減及び適正飼養者の育成を行う。 また、地域猫の不妊去勢手術を行うことで、飼い主のいない猫により生じる地域でのトラブルを解消並びに引取り頭数等の成果が見込まれる。 指標① 目標：180頭 実績：86頭 達成率：47. 7% 指標② 目標：200頭 実績：78頭 達成率：39. 0%
	指標① 目標：180頭 実績：99頭 達成率：55. 0% 指標② 目標：200頭 実績：149頭 達成率：74. 5%
令和 6 年 度	指標① 目標：180頭 実績：99頭 達成率：55. 0% 指標② 目標：200頭 実績：149頭 達成率：74. 5%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>・動物愛護センター内で収容する動物に感染症が蔓延することを防止するためには健康診断を実施することが必要である。 ・県の動物愛護管理推進計画では地域猫活動を推進することとしており、不妊去勢手術を行う等の支援を行っている。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>令和6年度は保健所から移送された犬猫を99頭譲渡した。 継続して譲渡を実施することにより、保健所における殺処分の削減に寄与すると考えられる。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	<p>保健所から動物愛護センターに移送する前に譲渡適性を判定することで効率化を図っている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 動物愛護センターの収容能力には限りがあることから、譲渡適性を適切に判定し、効率的に譲渡を行う必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 前述の「動物愛護管理推進計画」では、犬及び猫の引取り数及び殺処分数の削減を目標としており、継続して実施していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	